く参考資料>

- 1. 図 歯科保健活動のポイント(全国保健師長会「災害時の保健活動推進マニュアル」 より)
- 2. 災害歯科保健活動に使用する各種様式
 - ラピッドアセスメント(集団・迅速)
 - ▶ 施設·避難所等 歯科口腔保健 ラピッドアセスメント票(集団・迅速)Ver.4[災歯 2-1]
 - > 施設·避難所等 歯科口腔保健 ラピッドアセスメント票(集団・迅速)多職種 Ver.4
 - ▶ 施設・避難所等 歯科口腔保健ラピッドアセスメント票(集団・迅速)総括表<詳細版>[災歯 2-2]
 - ▶ 施設・避難所等 歯科口腔保健ラピッドアセスメント票(集団・迅速)総括表<簡易版>[災歯 2-3]
 - ニーズ調査
 - ▶ 災害時の歯・口に関する質問用紙[災歯 3-1]
 - ▶ 歯科保健医療 ニーズズ調査・保健指導実施票(個別・個人)[災歯 3-2]
 - ▶ 歯科保健医療 ニーズ調査・保健指導実施票(個別・複数)[災歯 3-3]
 - ▶ 歯科保健医療 ニーズ調査・保健指導実施票 総括表[災歯 3-4]
 - ▶ 歯科保健指導 実施票(集団)[災歯 3-5]
 - 歯科保健医療対応記録表
 - ▶ 歯科保健医療救護 報告書(災害時歯科共通対応記録)[災歯 3-6]
 - ▶ 歯科保健医療救護 個別記録票(災害時歯科共通対応記録)[災歯 3-7]
- 3. 表 歯科保健におけるフェーズ分類と歯科的問題点」(全国保健師長会「災害時の保健活動推進マニュアル」より)
- 4. 避難所等における各フェーズに応じた口腔ケア支援活動
- 5. 避難所等における口腔ケア啓発用資料(日本歯科衛生士会)
 - ▶ マスクをしたままできるお口の体操
 - ▶ 歯みがき啓発ポスター
 - ▶ 口腔ケア用品の管理方法に関するポスター(4種類、2ページ)
 - ▶ 口腔ケア用品の使用方法に関するポスター(7種類、7ページ)
- 6. 災害時歯科保健医療活動において連携すべき保健医療活動チーム

し歯の発生・歯周病の悪化・口内炎・発熱 ・誤嚥性肺炎・インフルエンザ・風邪・環境悪化に伴う咳や喉への悪影響 などの予防

1. 図 歯科保健活動のポイント

(全国保健師長会「災害時の保健活動推進マニュアル」)

http://www.nacphn.jp/02/saigai/pdf/manual_2019.pdf

【個別·集団】

《個別》 歯科保健指導 食事指導

子どもや高齢者・要援護者等を中心に、むし歯・歯周病・誤 嚥性肺炎予防などに関する情報を提供し、食事指導、口腔 ケアの具体的な方法についてなどアドバイスします。

《小集団·集団》 歯科保健指導 食事指導 人数が多い場合は、対象別に小集団や集団を対象に指導を 行います。

フェーズに応じた指導や避難所や施設の代表者から情報を 得てテーマを絞って指導を行い、必要に応じて個別指導を行います。

【ライフステージ別】

《乳幼児》 歯科保健指導 食事指導 食べ物の支援物資の制限は厳しい現状があります。

また、仕上げ磨きにより子どもが泣く場合があり、仕上げ磨きを しないことが考えられます。短時間の仕上げ磨きの方法などを アドバイスします。

《児童·生徒》 歯科保健指導 食事指導 支援物資には菓子パンやお菓子なども多いため、間食指導・ 歯磨き指導により食生活の平常化を目指します。また、避難所 では小集団を対象とした指導により、歯磨きの生活習慣が確 立されることが期待されます。

《成人》 歯科保健指導 食事指導 糖尿病などの生活習慣病と歯周病の関係などの情報提供を します。薬を服用している方や災害により新たに薬を服用し ている方への支援も必要です。

舌苔の除去及び歯間ブラシなどの使用の継続の必要性についてもアドバイスを行います。

《高齢者》 歯科保健指導 食事指導

義歯の清掃・保管方法などが習慣化できるように分かりや すいリーフレットなどによりアドバイスを行います。また舌苔 の除去や□腔機能を高めるための具体的な方法を指導しま す。さらに、□腔ケアが必要なこともあります。

《障がい児者》 《要支援者等》 歯科保健指導 食事指導 掲示物やパンフレットなどを通じて、適切な生活習慣を取り戻せるように繰り返しサポートを行います。

また、継続して支援できるように関係者等に個別の状況の 説明を行います。

2. 災害歯科保健活動に使用する各種様式

- ラピッドアセスメント(集団・迅速)
 - 施設・避難所等 歯科口腔保健 ラピッドアセスメント票(集団・迅速) Ver.4[災歯 2-1] https://www.jda.or.jp/dentist/disaster/pdf/assessment_rapid_jda.pdf
 - ▶ 施設·避難所等 歯科口腔保健 ラピッドアセスメント票(集団・迅速)他職種 Ver.4 http://jsdphd.umin.jp/pdf/rapid-assessment.level2.other.ver4.0.20200206.pdf
 - ▶ 施設・避難所等 歯科口腔保健ラピッドアセスメント票(集団・迅速)総括表<簡易版>[災歯 2-2]

http://jsdphd.umin.jp/pdf/assessment-summary-detail.format.ver4.0.pdf

▶ 施設・避難所等 歯科口腔保健ラピッドアセスメント票(集団・迅速)総括表<詳細版>[災歯 2-3]

http://jsdphd.umin.jp/pdf/assessment-summary-simple.format.ver4.0.pdf

● ニーズ調査

- 災害時の歯・口に関する質問用紙[災歯 3-1]http://jsdphd.umin.jp/pdf/3-1.questionnaire.202012.pdf
- ▶ 歯科保健医療 ニーズズ調査・保健指導実施票(個別・個人)[災歯 3-2] http://jsdphd.umin.jp/pdf/3-2.survey.individual.personal.202012.pdf
- ▶ 歯科保健医療 ニーズ調査・保健指導実施票(個別・複数)[災歯 3-3] http://jsdphd.umin.jp/pdf/3-3.survey.individual.multiple.202302.pdf
- ▶ 歯科保健医療 ニーズ調査・保健指導実施票 総括表[災歯 3-4] http://jsdphd.umin.jp/pdf/3-4.survey.individual.summary.202302.pdf
- ▶ 歯科保健指導 実施票(集団)[災歯 3-5] http://jsdphd.umin.jp/pdf/3-5.groupguidance.202012.pdf

● 歯科保健医療対応記録表

- ➤ 歯科保健医療救護 個別記録票(災害時歯科共通対応記録)[災歯 3-6] http://jsdphd.umin.jp/pdf/dentalreport.individual.ver1.0.20170824.pdf
- ▶ 歯科保健医療救護 報告書(災害時歯科共通対応記録)[災歯 3-7] http://jsdphd.umin.jp/pdf/dentalreport.ver1.4.20210417.pdf

災歯2-1

施設・避難所等 歯科口腔保健 ラピッドアセスメント票(集団・迅速) 日本歯科医師会統一版

避難所等の				避難所等の		
名称				立地する		
口心				市町村名		
評価年月日	年	月	日()	避難所等の		
曜日				責任者氏名		
時間	AM/PM	時	分ごろ	連絡先	()
避難者等の人数	人(月	日現在)		※ 実施した方法をすべてチェック☑する	
(夜間を含む、本部に登	~ (Ħ	口况(土)		□ 責任者等からの聞き取り	
録されている人数)					(役職·氏名:)
	a うち乳幼児(就学前)	(約	人or%), 不明		□ 避難者等からの聞き取り	
その	b うち妊婦	(約	人or%), 不明	情報収集法	(人程度)	
内訳	c うち高齢者(75歳以上)	(約	人or%), 不明		□ 現場の観察	
	d うち障がい児者・要介護者	(約	人or%), 不明		□ 支援活動等を通じて把握	
評価時に在所して	だいたい	人くらい	(□ その他 ()
いた避難者等数	/201/201	入へつい	(11人女人)			
記載者	氏名: 所属	:		記載者		
氏名·所属				連絡先		
職種	職種:1歯科医師 2歯科衛生士	3 その他	()	(携帯電話等)		

			_		
項目	確認項目(※	確認できれば数値や具体的内容を記載)		評価	評価基準(参考)
(1) 歯科保健医療 の確保	a 受診可能な近隣の歯科診療 b 巡回歯科チームの訪問	察所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1あり、 2なし、 9不明 1-① あり(定期的), 1-② あり(不定期) 2なし , 9不明		© O △ ×	歯科医療の受療機会: ◎ほぼいつでも可能、○ 3日に1回は可能、△週 に1回以下・困難、×不
特記事項				-	可能、- 不明
(2) 口腔清掃 等の環境	a 歯磨き用の水 b 歯磨き等の場所	1充足, 2不足*, 9不明 * (具体的に:) 1充足, 2不足*, 9不明 * (具体的に:)		© O △ ×	うがい水and/or洗面 所: ◎ 不自由ない、○おおむ ねあるが制限はある、△ 特定の用途にのみ、また
特記事項				_	は短時間使える状況である、×ない・使えない
(3) 口腔清掃用具 等の確保 ※ 主観的におおまかに	a-1 歯ブラシ(成人用) a-2 歯ブラシ(乳幼児用) b 歯磨き剤 c うがい用コップ d 義歯洗浄剤 e 義歯ケース	1充足, 2不足(約 人分), 9不明 1充足, 2不足(約 人分), 3不要, 9不明 1充足, 2不足(約 人分), 9不明 1充足, 2不足(約 人分), 9不明 1充足, 2不足(約 人分), 3不要, 9不明 1充足, 2不足(約 人分), 3不要, 9不明		© O △ ×	歯ブラシ(成人・乳幼児)、歯みがき、コップ、 義歯ケース・洗浄剤: ◎ 90%以上が確保、○ 70~90%、△40~ 70%、×40%以下、-
特記事項				_	不明 (避難者数に対する割合)
(4) 口腔清掃や 介助等の状況 全体状況 ※ 主観的におおまかに	a 歯磨き b 義歯清掃 c 乳幼児の介助 d 障がい児者・要介護者 の介助	1していそう, 2ほぼしていなそう, 9不明 1していそう, 2ほぼしていなそう, 9不明 1していそう, 2ほぼしていなそう, 3不要, 9不明 1していそう, 2ほぼしていなそう, 3不要, 9不明		© O △ ×	歯や義歯の清掃、乳幼 児・障害・要介護者の介 護: ◎90%以上が確 保、○70~90%、△40 ~70%、×40%以下、
特記事項				-	- 不明 (避難者数に対 する割合)
(5) 歯や口の訴え 義歯の問題 食事等の問題	※ 重なる場合は複数の項目 a 痛みがある者 b 義歯紛失や義歯破折 c 食事等で不自由な者 (咀嚼や嚥下の機能低下等)。	1いる(約 人), 2いない, 9不明 1いる(約 人), 2いない, 9不明 1いる(約 人), 2いない, 9不明		© O △ ×	痛みあり、義歯問題、食 事不自由: ◎90%以上が問題な し、○70~90%、△40 ~70%、×40%以下、
特記事項				_	-不明(避難者数に対する割合)
その他の問題	例)歯科保健医療に関するその他の事項、避難所のインフラ・衛生状況等に関する事項、医師や保健師等の他チームに伝達すべき事項				

標準Ver4.0(20200206) 県歯科衛生士会)

施設・避難所等 歯科口腔保健 ラピッドアセスメント票(集団・迅速) 他職種 Ver4

避難所等の 名称		避難所等の 立地する 市町村名	
評価年月日 曜日 時間	年 月 日() AM/PM 時 分ごろ	避難所等の 責任者氏名 連絡先	()
避難者等の人数 (夜間を含む、本部に登録されている人数)			※ 実施した方法をすべてチェック☑する□ 責任者等からの聞き取り(役職・氏名:□ 避難者等からの聞き取り
その 内訳	a うち乳幼児(就学前) (約 人or%), 不明 b うち妊婦 (約 人or%), 不明 c うち高齢者(75歳以上) (約 人or%), 不明 d うち障がい児者・要介護者 (約 人or%), 不明	情報収集法	(人程度) □ 現場の観察 □ 支援活動等を通じて把握
評価時に在所して いた避難者等数	だいたい 人くらい(概数)		口その他()
記載者 氏名·所属 職種	氏名: 所属: 職種:	記載者 連絡先 (携帯電話等)	

項目	評価基準(参考)	評価	※ 確認できれば数値や具体的内容を記載
(1) 歯科保健医療 の確保	歯科医療の受療機会: ◎ ほぼいつでも可能、 ○ 3日に1回は可能、 △ 週に1回以下・困難、 × 不可能、 - 不明	© O A X	受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等の有無、巡回歯科チームの有無、稼働状況(日程・時間など):
(2)	うがい水and/or洗面所: ○ 不自由ない、○ おおむねあるが制限はある、	© O	 歯磨き用の水、歯磨き等の場所などの問題点・必要物資など:
当に通行でいる。	○ おのではあるが制限はある。△ 特定の用途にのみ、または 短時間使える状況である。× ない・使えない- 不明	Δ × -	
(3)	歯ブラシ(成人・乳幼児)、歯みがき、 コップ、義歯ケース・洗浄剤:(避難者 数に対する割合)	© O	歯ブラシ(成人用・小児用・乳幼児用)、歯磨き 剤、うがい用コップ、義歯洗浄剤、義歯ケースなど の問題点・必要物資など:
等の確保	90%以上が確保、70~90%が確保、△40~70%が確保、×40%以下のみ確保、不明	△ × −	
(4)	歯や義歯の清掃、乳幼児・障害・要介護者の介護: (避難者数に対する割合)	© 0	歯磨きや義歯の清掃に問題があればその理由。乳幼児や障害児者・要介護者で□腔ケア介助の問題点・ 必要性など:
□腔清掃や 介助等の状況 全体状況	◎ 90%以上が確保、○ 70~90%が確保、△ 40~70%が確保、× 40%以下のみ確保、- 不明	Δ × -	
(5)	痛みあり、義歯問題、食事不自由: (避難者数に対する割合)	© O	※ 重なる場合は複数の項目に含めてくださいa 痛みがある者 (約 人)b 義歯紛失や義歯破折(約 人)
歯や口の訴え 義歯の問題 食事等の問題	90%以上が問題なし、70~90%が確保、40~70%が確保、×40%以下のみ確保、不明	Δ × -	c 食事等で不自由な者(約 人) (咀嚼や嚥下の機能低下等による) その他:
その他の問題	例)歯科保健医療に関するその他の事項、避難所のインフラ・衛生状況等に関する事項、医師や保健師等の他チームに伝達すべき事項		
※ 建ききれたい情報	や関連情報は、特記事項欄に記入してくた	ジナハ	標準 Ver4.0(20200206)

※ 書ききれない情報や関連情報は、特記事項欄に記入してください。

(

標準 Ver4.0(20200206)

災 本 2-2

																		Ver4.0
20 年 月 日	◎良好・問題なし、〇ほぼ良好・ほぼ問題なし、 △やや問題あり、×大いに問題あり、一:不明	備考																Ver
作成年月日	◎良好・問題なし、〇) △やや問題あり、×フ	その他の問題																
易版〉		(5) 症状 歯や口の訴え 義歯の問題 食事等の問題																
総括表<簡易版>	市町村名	(4)清掃行動 口腔清掃や 介助等の 状況																
迅速)		(3)用具 口腔清掃の 用具等の確保																
(集団・)	(2)環境 口腔清掃等の 環境																
メメスト	作成者氏名 (所属名)	(1) 専門支援 歯科保健医療 の確保																
ピッドアセスメント票	A B B B	うち要配慮者 (乳幼児・妊婦・高齢者・障害 児者など)																
歯科口腔保健 ラ	20 年 ~ 20 年	避難者等の人数(人)																
• 避難所等 歯科	アセスメント 実施年月日	避難所等の 名称																
施設	」 加	₈	-	2	3	4	2	9	7	8	6	10	11	12	13	14	15	

災害時の歯・口に関する質問用紙

火百的少国 日に因うる貝间用帆	
男 年 🗆 0~5 🗆 6~18	介 □ 非該当
女 齢 □ 19~64 □ 65以上	護 □ 要支援1・2
年 月 日() 実施場所	度 □ 要介護
についてお尋ねします。食事が食べにくいことがありますか?	はい・いいえ
「 はい 」に○を付けた方は次の質問にもお答えください	\
弁当などを出された時に、食べにくいことがある	はい・いいえ
食事中にむせることがある	はい・いいえ
食事中や食後に咳き込む・痰がからむなどがある	はい・いいえ
口についてお尋ねします。痛いところがありますか?	はい・いいえ
「 はい 」に○を付けた方は次の質問にもお答えください	\
歯がしみる・痛む	はい・いいえ
歯ぐきの腫れ・痛み・血が出る	はい・いいえ
口内炎ができている	はい・いいえ
口が開かない・開けると痛い	はい・いいえ
その他、痛むところがある()	はい・いいえ
	はい・いいえ
「 はい 」に○を付けた方は次の質問にもお答えください	,
歯ブラシ等ケア用品が不足している	はい・いいえ
何が必要ですか(
水が不足している	はい・いいえ
洗面所が足りない	はい・いいえ
その他、歯みがきをするにあたっての問題点がある	はい・いいえ
(
歯について下記のような問題点がありますか?	はい・いいえ
「 はい 」に○を付けた方は次の質問にもお答えください	\
入れ歯がない・壊れている	はい・いいえ
入れ歯を使っていない	はい・いいえ
入れ歯が合わない・噛みにくい	はい・いいえ
入れ歯の清掃が十分にできない	はい・いいえ
入れ歯の保管ケースがない	はい・いいえ
以外に何かお困りかことがありましたらお書きください	
久がに何かも出りなことがありましたりも言さくだとい。	
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	はい・いいえ
「 はい 」に○を付けた方は次の質問にもお答えください	
	· .l.
かかりつけの歯科医院はありますか?	<u>`</u>
	女 新

*ご記入ありがとうございました。この質問用紙は歯科担当者にお渡しください。

作成:2020.12 日本歯科衛生士会

災歯3-2

歯科保健医療ニーズ調査・保健指導実施票(個別・個人)

実施日:	/ 実施場	所:							
ふりがな			男	年 🗆	0 ~ 5 □ 6	5~18	介□	非該当	
氏名			女	齢 🗆 1	.9~64 □ 6	65以上	護□	要支援1・	2
実施場所の力	- テゴリー:□避難所 □仮		宝宅 □そ	の他()		度	要介護	
							<u> </u>		
主訴									
【口腔機能】									
食事中や食後	いのむせ	1 ない 2 ま	うまりない	3	あり				
食事中や食後	の痰のからみ	1 ない 2 ま	うまりない	3	あり				
【口腔内状》	况】								
	プラークの付着状況	1 ほとんどない	2 中程度	3	著しい				
┃ □腔衛生	食渣の残留	1 ない	2 中程度	3	著しい				
口腔単土 状態	舌苔	1 ない	2 薄い	3	厚い				
1人思	口腔乾燥	1 ない	2 わずか	3	著しい	/	/\de	200	
	口臭	1 ない	2 弱い	3	強い		-(Y)~		$\backslash\!\!\backslash$
	上顎	1 総義歯 2 部	『分床義歯	3	義歯なし		ď		,
義歯の状況	下顎	1 総義歯 2 部	『分床義歯	3	義歯なし	<i>∀</i>			
	義歯プラーク付着状況	1 ほとんどない	2 中程度	3	著しい	l NC		ÍÁ)//
臼歯部での	義歯なしの状態で	1 ない 2 あり	\rightarrow	片側	□ 両側)/(点。		//
咬合	義歯ありの状態で	1 ない 2 あり	\rightarrow	片側	□ 両側		CO)	1002//	/
	歯周病	1 ない 2 あり	→ □	痛み	□あり				
歯科疾患	う触	1 ない 2 あり	\rightarrow	痛み	□あり				
	粘膜疾患	1 ない 2 あり	\rightarrow	痛み	□あり				
【指導・申	し送り内容】								
1.口腔衛生	2.口腔機能 3.義歯	4.治療連携 5.その	の他						
 継続指導の必	・要性 □不要 □要								
記載者			\ 						
所属・氏名			連絡先						
		•	<u>,</u>		作月	发:2020	0.12 ⊟	本歯科衛生	生士会
		. — - — - — - — -							
		ご本ノ	控え						
お名前			日付			年	月	日 ()
お口の状態		<u> </u>							
注意事項									
記載者					\+\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\				
所属・氏名		チーム名			連絡先				

作成:2020.12 日本歯科衛生士会

 $\overset{\circ}{\mathsf{N}}$

Ш

皿

什

実施日:

記載者 所属·氏名

災断3-3

歯科保健医療ニーズ調査・保健指導実施票(個別・複数)

その他、申し送り事項等がありましたらご記入ください。

当日の登録人数

実施場所のカテゴリー

実施場所:

				LS.	毛鱼	□⊬數	□⊬數	□⊬裏	□⊬數	□⊬數	□⊬數	□⊬數	□⊬敷	□⊬數	□⊬數	
			追加	友.	継続 指導	□■	□■	□■	□■	□■	□■	□■	□■	□■	□■	
			内容	织虫	深連携	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	
			指導	#	装 菌	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	
			歯科保健指 導	ㅁ설	群機能	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	
			裍	口	群衛生	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	□実施	
20					歯や口の訴え、口腔清掃に関わる不足 物品・環境の問題、口腔清掃状態、医療 やケアのニーズ											
所属•氏名	連絡先		詳細記載欄	例:	歯や口の訴え 物品・環境の やケアのニー											
			歯科治療の 確保	年記 医鼠虫	護歯紛失 する、歯 の確保	_ გი	ე ფ	ე ფ	ე ფ	ე ფ	ე ფ	ე ფ	_ გი	ე ფ	ე ფ	
		(1)	断科》	年記	痛み、義歯紛失 等に対する、歯 科治療の確保	ロなし	ロなし	ロなし	ロなし	ロなし	ロなし	ロなし	ロなし	ロなし	ロなし	
			断や口の	四個四個四個	舌の汚れ・ロ 渇・ロ臭・ロの 中の汚れ	_ გყ	_ ക	_ გს	_ ക	_ გყ	_ ക	_ ക	_ გყ	_ ക	_ ക	
			歯な	三四		コな	つ <i>ţ</i>	コな	つ <i>ţ</i>	つ <i>ţ</i>	つ <i>ţ</i>	つ <i>ţ</i>	つ <i>な</i>	つ <i>ţ</i>	つ <i>ţ</i>	
			歯みがきを ナス	る問題	歯みがきできて いる、介助みが きされている	_ გყ	რ ⊈	ი ფ □	რ ⊈	ეფ □	რ ⊈	რ ⊈	ეფ 	რ ⊈	რ ⊈	
		(4)	を を する する	の配		なし	ロなし	ロなし	ロなし	ロなし	ロなし	ロなし	ロなし	ロなし	ロなし	
			断みがきの暗棒	配	歯ブラシ・ケ ア・義歯用品・ 水や場所の確保	 გე	ეფ □	<u>ე</u>	ეფ □	ეფ 	ეფ □	ეფ □	 გე	ეფ □	ეფ □	
		(2)(3)	極みが開	1920年	歯ブラ ア・義 かや場所	なしな	は口	は口	は口	はし	は口	は口	ねしな	は口	は口	
			食事をする時の	配配配配	歯が痛い、食べ にくい、食事中 のむせ	ე ფ	_ ক	_ ক	_ ক	 ₽0	_ ক	_ ক	ე ფ	_ ক	_ ক	
		(2)	神和	三三	断が痛 にくい、 の	なしな	ロな	ロなし	ロな	ねし	ロな	ロな	ねしな	ロな	ロな	
			¥	5	¥											
			*	<u>ग</u>	眠											
		伦			65 以上											
		とのさ	有		19 から 64											
		ジー	4	4	6 から 18											
		セスメ			0 から 5											
]避難所 □仮設住宅□施設 □在空		※ 標準(迅速集団)アセスメント票との対応	は	₽											0	集計
	JЦ					1	2	3	4	5	9	7	8	6	10	

歯科保健医療ニーズ調査・保健指導実施票 総括票

実施場所:			当日の 登録者数	人	実施日:	年 月	日 ()
			·	含む本部に登録さ	れている人数		
実施場所のカ	テゴリー:□	避難所 □仮	設住宅 □施詞	设 □在宅 □]その他()
*実施票は複数	枚あっても「総 持	活表」は日ごと	、実施場所や活	動ごとに分けて	、1枚にまとめ	つてください	
【対応者数集	: ≣ ∔ ไ					(単位:人	.)
対応		年	:齢		性	上別	
総人数	0~5	6~18	19~64	65~	男性	女性	
【ニーズ内容	集計】				(単位:人)		(単位:人)
歯科口腔の	食事をする	歯みがきの	歯みがきを	歯や口の	歯科治療の		追加対応
問題	時の問題	環境問題	する問題	清掃問題	確保問題	ļ <u> </u>	継続指導
ない							
ある						<u> </u>	要
*各項目の「あ	L る」「ない」の合	L 計は「対応総人数	女」と一致するこ	ک		4	
【指導内容集	計】			(単位:人)			
歯科保健	口腔衛生	口腔機能	義歯の	歯科治療			
指導	管理	管理	管理	連携		不	要
実施							
*ひとりに対し	て複数の指導を行	った場合は全てカ	コウントしてくだ	さい			「不要」の合計は
【申し送り事	:項】					対心総人	数」と一致すること
•	送り先			内	容		
記載者				連絡先			
所属·氏名				建 裕兀			

*本部や関連機関への報告や、記録管理に活用ください。

作成:2020.12 日本歯科衛生士会

災歯3-5

歯科保健指導実施票(集団)

実施場所:			当日の 登録者数	女	人実施	∃:	年	月	日 ()
			↑夜間	引を含む本部に登	金録されてい	る人数				
実施場所のカ	テゴリー:	□避難所 □仮	設住宅 □	施設 □在宅	∃ □その	他()	
	妊婦(人)幼児(人)	児童・生徒(人)		参加			
対象者	成人(人) 高齢者(障害児・者(人)		人数			人
【指導内容】										
1.口腔衛生管理	里 2.口腔	型機能管理 3.	義歯の管理	4.歯科治療	連携 5	5.その他	,			
*簡単に指導内	容を書いて	ください								
継続指導の必要	長性 □不	要 □要								
		<u> </u>								
【申し送り事	項】									
記載者										
所属・氏名				連絡先	;					

作成:2020.12 日本歯科衛生士会

災断3-6

4	经石净户条件	井 4	Œ]수크급		tt ×	범	₩ 14	片	† †		€	# [] *	=7.H	7				型	担当者·所属	- 所属				
<u>*</u>	赵作闲医 场掠炎遗	以思	<u>=</u>	7.J ਜ਼ਿ	间对记录形		X H	《火市时图本状园》》心即	<u>¥</u> ₹	Ĭ.	X			兴 中 国	炎吉圏饼 Veri.U	eri.u					連絡先					
	実施日				町		$\stackrel{\smile}{\boxminus}$		_				時間				\									
	業務内容	評価	評価(アセスメント)	メス	<u>7</u>	₩	相談・	縕	歟	治療	-	個別指導	· 蒙	集団指導	- 勲	物資提供	是供・	その他	#))							
	出務場所	建物	建物・避難所名など	所名	なだ						<u>⊕</u>	(市町村名	名など			剛(避難所種類:	重類:	避難所		施設		豆設住	仮設住宅等・その他((
	処置 · 対応内容	Įžh		処體	処置・治療など	療な	÷,					總	察・相談・指導・ケアなど	6-指導	章-ケア	など				殊	紹介など	نڌ		摂食嚥下関係		
														個別			集団									
	名前 無	件霍	軐	口腔外科	再装	装 密	義歯修理	歯内療法	保存修復	地图光摩斯·沙姆斯	消炎鎮痛その:	6¢(□;						型 世	口腔ケアー指導な	その色の 圏 科	医科		₩6:	(1) スクリーニンク(RSST/MWST/FT)(②評価(頸部聴診など)③指導(体位、間接訓練)(類)	「その他」の内容記載 特記事項	
	(米E) (米E) (米E) (米E) (米E) (米E) (米E) (米E)	<u> </u>		処置	恒	<u></u>	· 調整					<u> </u>	・保健指導腔内あり)・歯科保健	- 歯 3 R m m / N h m m m m m m m m m m m m m m m m m m	と指導で指導 アの実施	- P S W M M M M M M M M M M M M M M M M M M	事・啓発 非話・	ζ	ر د و الم				 有			
1																										
2																										
3																										
4																										
5																										
9																										
7																										
8																										
6																										
10																										

災歯3-7

歯科保健医療救護 報告書(災害時歯科共通対応記録)災害歯研ver1.3

			(報告者名・所属:)
			(電話番号:)
				·
業務日時	月 E	1 ()	活動時間: 時 分~ 時	分
(1) 班員名	チーム全員の名前と職名(略称可	J) を記載ください		
(氏名・職種)				
	対応したものすべてに○をつ	けてください/	その他は内容を記載ください	
(2) 業務内容	評価(アセスメント)・	相談 ・ 診察	マ・治療 ・ 個別指導 ・ 集団指導 ・ 物資提供	
	その他()
	建物など名		※ この用紙とは別に、それぞれの出務場所ごとの、	
イ 出務場所			「歯科保健医療救護 個別記録票(災害時歯科共通	通対応記録)」
	(市町村など名)	も、別途記載し提出してください	
口 処置内容	対応・処置 実人数:	人 (男性 人、 女性 人、記載なし	人)
処置人数	(内訳:18才未満	人、一般成人	、(18-64才) 人、高齢者(65才以上)	人)
		ど	診察・相談・指導・ケアなど	
	実人数 (計	人)	個別 実人数 (計 人)	
対応した項目の	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	•	□ 個別 歯科相談・保健指導のみ(口腔内なし)	(人)
□にチェックを	□ 再装着	(人)	□ 個別 診察説明・歯科保健指導 (口腔内あり)	(人)
入れて、人数を	□ 義歯新製	(人)	□ 個別 口腔ケア指導(口頭のみ)	(人)
記載ください	□ 義歯修理・調整	(人)	□ 個別 口腔ケアの実施、及び、指導	(人)
	□ 歯内療法処置		□ 個別 口腔ケアの実施のみ	(人)
	□ 保存修復処置		□ 集団 歯科講話・保健指導・啓発	(人)
	□ 歯周治療処置		□ 口腔ケア用品の提供	(人)
	□ 消炎鎮痛・処方	(人)		,
	□ その他の処置など	(人)	□ その他の診察・指導など	(人)
	※内容を記載ください		※内容を記載ください	
	紹介など		摂食嚥下に関する評価・診察・指導な	ど
	実人数(計	人)	実人数 (計 人)	
	□ 紹介(歯科へ)	(人)	□ 摂食嚥下機能スクリーニング (RSST、MWST、FT)	(人)
	□ 紹介(医科へ)	(人)	□ 摂食嚥下機能の評価(頸部聴診など)	(人)
	□ 紹介 (その他へ)	(人)	□ 摂食嚥下に関わる指導(体位、間接訓練)	(人)
			□ 食形態や摂食方法などの指導(直接訓練)	(人)
	□ その他の紹介など	(人)	□ その他の摂食嚥下に関する対応など	(人)
	※内容を記載ください		※内容を記載ください	
ハ 出務場所の				
状況・活動報告				
歯や口に関する				
ことのみ				

報告日:年月日 ()※この用紙は日ごとではなく、出務場所ごとに記載ください

※この用紙とは別に、それぞれの出務場所ごとの、「歯科保健医療救護 個別記録票(災害時歯科共通対応記録)」も別途記載し提出してください

3. 表 歯科保健におけるフェーズ分類と歯科的問題点」

(全国保健師長会「災害時の保健活動推進マニュアル」)

http://www.nacphn.jp/02/saigai/pdf/manual_2019.pdf

フェー	時期	歯科的問題点	住民の声
<u>ズ</u> 0	(目安) 発災~ 24 時間	◆ 口腔衛生用品不足	◆ 逃げるのに精一杯で義歯を持ち出せなかった◆ 義歯ケースがなくなった
1	24~ 72 時間以 内	◆ 歯科救護◆ 義歯紛失◆ 外傷等による歯牙損傷	逃げる時に転んで顎を打って痛くて食べられな歯を磨きたくても水がない歯を磨くことを忘れていた 等
2	4 日目 ~1 か月	 ・口腔衛生状態悪化 ・義歯清掃管理不良 ・口腔機能低下 ・食事形態による食べ方支援が必要 ・感染予防 ・口腔ケア啓発 	 支援物資に子ども用の歯ブラシが見つからない 歯が痛いが診てくれる歯医者がいない 歯を磨いていないので歯肉が腫れてきた 口内炎が痛い 水が冷たくて歯を磨きたくない 予約していた主治医と連絡が取れない お菓子を好きなだけ食べるが、避難所で注意しにくい 喉がよく渇いて痛い、ほこりが多くて咳がよくでる 洗面所が遠いので行けない 義歯を外した姿を他人に見られたくないので、入れたまま歯磨きをしている 災害後一度も義歯を外していない等
3	1 か月 ~6 か月	◆ 口腔ケア ◆ 口腔機能向上支援の継 続	 震災前は歯ブラシ・歯間ブラシで手入れをしていたが、災害後はする意欲がなくなった 応急仮設住宅がかかりつけの歯科医院から遠いので通院できなくなった 子どものむし歯は気になるが歯科診療所が遠い お弁当の冷たい揚げ物などが固くて食べられない等
4	6 か月から	◆ 継続した歯科健康相談· 健康教育等	 地元の歯科診療所の診療が開始されたが、医療費のことが心配でなかなか受診できない 応急仮設住宅からの交通機関が不便で、かかりつけだった歯科医院の受診は難しい 予防は大切と思うが、今後の事が心配で歯を磨く意欲がなくなった等

4. 避難所等における各フェーズに応じた口腔ケア支援活動

愛媛県 災害時保健衛生活動マニュアル ~歯科口腔保健編~ (平成 29 年 12 月作成, 修正 令和 5 年 3 月) より引用

- ◆ 概ね災害発生後24時間以内(フェーズ0) 初動体制の確立期
- ◆ 概ね災害発生後 72 時間以内(フェーズ1) 緊急対応期ー生命・安全の確保ー
- ◆ 概ね4日目から2週間まで(フェーズ2) 応急対応期ー生活の安定ー
- ◆ 概ね3週間目から2か月まで(フェーズ3) 応急対応期ー生活の移行ー
- ◆ 概ね2か月以降(フェーズ4) 復旧期-生活の再建ー
- ◆ 概ね1年以上(フェーズ5) 復興期ー地域の再建ー

概ね災害発生後24時間以内(フェーズO) 初動体制の確立期

災害発生時は稼働できる職員数に限りがあることから、命を守ることを最優先し、多職種と連携し効果的に被災情報を集めるなど組織的に対応する。

歯科医療(救護)対策への協力、歯科口腔保健対策及び感染症予防の観点から避難所の環境整備体制を検討する。

【想定される事項】

- ・ 災害の規模、発生時期(季節、平日か休日か、時間帯等)により、初動体制は左右される。
- ・ 停電等により通信が途絶される場合があり、夜間の発生では被害状況が把握しにくく、道 路の安全も確認しにくい等情報収集が困難な場合がある。
- ・ 職員も被災し、登庁者も限られる。

◆◆県主管課(健康増進課)◆◆

1. 災害情報の収集と保健所等への情報提供

- ○被災状況(被災者数、避難施設、交通状況等)
- ○ライフライン(上水道、電気、ガス等)の被害状況
- ○歯科口腔保健に関する被災状況の把握

2. 口腔ケア支援活動体制整備

- ○口腔ケア支援活動に必要な人材・物品等の確保について、歯科医師会、歯科衛生士会、 歯科技工士会等と連携して対応
- 3. 庁内関係各課との情報交換

◆◆保健所◆◆

1. 地域の被災状況の把握と県主管課からの情報の整理

- ○被災状況(被災者数、避難施設、交通状況等)
- ○ライフライン(上水道、電気、ガス等)の被害状況
- ○緊急歯科診療に関するニーズ

2. 口腔ケア支援活動体制整備

- ○口腔ケア支援活動に必要な物品の確認
- ○市町から人材の派遣要請等のニーズを確認

◆市町◆

1. 地域の被災状況の確認及び保健所との連携と調整

- ○被災状況(被災者数、避難施設、交通状況等)
- ○ライフライン(上水道、電気、ガス等)の被害状況
- ○緊急歯科診療に関するニーズ

2. 口腔ケア支援活動体制整備

- ○口腔ケア支援活動に必要な物品の確認
- ○被災状況の把握結果から、市町災害対策本部や保健所と情報の共有を図り、口腔ケア支援活動について検討
- ○被災地での人材の派遣要請等のニーズを把握し、市町災害対策本部や保健所等と連携・ 調整

概ね災害発生後72時間以内(フェーズ1) 緊急対応期—生命・安全の確保—

命を守ることを最優先し、多職種と連携し効果的に被災情報を集めるなど組織的に対応するとともに、歯科医療(救護)の実施支援、歯科口腔保健対策及び感染症予防の観点から避難所の環境整備を図る。

【想定される事項】

- ・ 被害状況が明らかになり、活動計画を作成し活動が展開される。
- ・ 外部に支援要請した場合等活動がスムーズに展開できるように準備や調整が必要である。
- ・ 余震等被害が拡大する場合がある。
- ・ 被災者は不安と安堵感等、混沌としており、十分な睡眠がとれない状況にある。
- ・ 自宅避難者等が情報不足により地域で孤立しやすい。
- ・ 断水等により、口腔清掃やトイレの汚物処理が困難となり、衛生状態が悪化する。
- ・ 救援物資及び医療機関等の情報や安否確認等の整理が必要となる。

◆◆県主管課(健康増進課)◆◆

- 1. 災害情報の収集と保健所等への情報提供
- 2. 口腔ケア支援活動体制整備
 - ○口腔ケア支援活動及び歯科医療に必要な人材・物品等について、歯科医師会、歯科衛生 士会、歯科技工士会等と連携して対応
 - ○口腔清掃、誤嚥性肺炎予防等の普及啓発(ポスター、チラシ等)の作成、配布
- 3. 庁内関係各課との情報交換

◆◆保健所◆◆

- 1. 地域の被災状況の把握と県主管課からの情報の整理
 - ○市町からの被災状況の確認(歯科の問題やニーズの把握)
 - ○人材及び物品の確認の共有
- 2. 口腔ケア支援活動体制整備
 - ○保健衛生活動拠点における口腔ケア支援活動計画の立案
 - ○市町から人材の派遣要請等のニーズを確認
 - ○□腔ケア支援活動に必要な物品等の把握・点検・調達
 - ○□腔ケア支援活動に伴う関係者との連絡調整
 - ○口腔清掃、誤嚥性肺炎予防等の普及啓発(ポスター、チラシ等)の準備
- 3. 緊急歯科診療の実施支援
 - ○避難所等での外科的処置等緊急歯科診療に繋げる。

◆市町◆

- 1. 担当部署を通じて、歯科の問題やニーズの把握及び保健所との連絡・調整
 - ○避難所の状況調査にて把握
- 2. 口腔ケア支援活動体制整備
 - ○活動状況の報告及び必要な支援について保健所と協議し、支援活動の体制を整備
- 3. 緊急歯科診療の実施
 - ○避難所等での外科的処置等緊急歯科診療に繋げる。

概ね4日目から2週間まで(フェーズ2) 応急対応期—生活の安定—

引き続き組織的な健康支援活動を中心とし、避難所巡回等により、全体的な被災情報や保 健医療福祉ニーズとともに、歯科関連ニーズの把握に努め、必要な支援を検討する。

また、ライフラインの断絶による口腔衛生状態や栄養状態の悪化に対し、歯科口腔保健対策の観点から必要な支援や活動を行う。

【想定される事項】

- ・ 避難所への支援体制が整ってくる。
- ・ 高齢者のADL低下、脱水、風邪、誤嚥性肺炎等の感染症が増加してくる可能性がある。
- ・ 避難生活によるストレス等の影響から健康者も体調不良を生じる。それに加え自宅等の後 片付けに追われ、慢性疲労や怪我が増える。
- ・ 子どもの情緒(災害時の恐怖感、退行現象等)に変化が見られる。
- ・ 慢性疾患の内服中断等による悪化や受診、服薬についての不安が顕在化する。
- 野菜不足によるビタミン欠乏、アレルギーの対応など食事の問題が顕在化する。

◆◆県主管課 (健康増進課) ◆◆

- 1. 災害情報の収集と保健所等への情報提供
- 2. 口腔ケア支援活動体制整備
 - ○随時、派遣計画を見直し、必要に応じて動員計画を変更
 - ○口腔ケア支援活動について、歯科医師会、歯科衛生士会、歯科技工士会等関係団体と 協議
- 3. 関係機関・団体との連絡調整
- 4. 庁内関係各課との情報交換

◆◆保健所◆◆

- 1. 地域の被災状況の把握と県主管課からの情報の整理
 - ○避難所等歯科口腔保健標準アセスメント票の共有
 - ○避難所住民数(全体、乳幼児数、高齢者数等)
 - ○被災住民数(避難所以外の被災者)
 - ○ライフライン(水道、電気、ガス、道路等)の復旧状況
 - ○歯科医療機関の復旧状況の確認
- 2. 口腔ケア支援活動体制整備
 - ○被災状況の把握結果から、市町と口腔ケア支援活動の実施
 - ○市町から人材の派遣要請等のニーズを確認する。
 - ○口腔清掃、誤嚥性肺炎予防等の普及啓発(ポスター、チラシ等)の実施
 - ○要配慮者に対する支援の実施
 - ○福祉避難所等での歯科ニーズの把握と支援
- 3. 歯科医療受診の調整
 - ○歯や口腔内の外傷や義歯の紛失等歯科医療が必要な人に対する受診の調整

◆市町◆

- 1. 保健所と情報を共有
 - ○避難所住民数(全体、乳幼児数、高齢者数等)
 - ○被災住民数 (避難所以外の被災者)
 - ○ライフライン(水道、電気、ガス、道路等)の復旧状況
 - ○歯科医療機関の復旧状況の確認
- 2. 避難所等での歯科ニーズの把握及び口腔ケア支援活動の実施
 - ○保健所と口腔ケア支援活動の実施について計画
 - ○□腔清掃、誤嚥性肺炎予防等の普及啓発(ポスター、チラシ等)の準備
 - ○口腔ケア支援実施後は様式等を活用し、記録をまとめ、保健所等と情報を共有
- 3. 歯科医療受診の調整

概ね3週間目から2か月まで(フェーズ3) 応急対策期—生活の移行—

避難所の集約、仮設住宅への移行に向かう時期であり、避難生活の長期化に伴う二次的な健康課題の発生が予測されるため、各関係団体・機関で情報共有し、連携した歯科口腔保健対策の強化が求められる。歯科口腔保健対策としては、健康調査を踏まえた活動計画を策定し、引き続き避難所での健康対策、要配慮者への支援などを行うが、歯科医療等専門チームや応援・派遣の撤退を視野に入れる必要がある。

【想定される事項】

- ・ 一部の避難所が閉鎖され、自宅へ戻れない人は避難所の移動を余儀なくされる。
- 長引く避難所生活に伴い、疲労の蓄積による身体症状や栄養の偏り等健康への影響が現れる。
- ・ 劣悪な環境下での集団生活により、感染症の流行の恐れがある。
- ・ 生活範囲の挟小化による運動不足、閉じこもりの増加により、廃用性症候群等をきたす恐れがある。

◆◆県主管課(健康増進課)◆◆

- 1. 災害情報の収集と保健所等への情報提供
- 2. 口腔ケア支援活動体制整備
 - ○口腔ケア支援活動に必要な物品手配を行い、保健所又は市町と調整する。
 - ○随時、派遣計画を見直し、必要に応じて動員計画を変更する。
 - ○口腔ケア支援活動及び歯科医療等活動計画について、歯科医師会、歯科衛生士会、歯科 技工士会等関係団体と協議

◆◆保健所◆◆

- 1. 地域の被災状況の把握と県主管課からの情報の整理
 - ○避難所住民数(全体、乳幼児数、高齢者数等)
 - ○被災住民数 (避難所以外の被災者)
 - ○ライフライン(水道、電気、ガス、道路等)の復旧状況
 - ○歯科医療機関の復旧状況の確認
- 2. 口腔ケア支援活動体制整備
 - ○避難所等歯科口腔保健標準アセスメント票の共有
 - ○口腔ケア支援活動結果を踏まえ計画の見直し
 - ○市町から人材の派遣要請等のニーズを確認する。
 - ○口腔清掃、誤嚥性肺炎予防等の普及啓発(ポスター、チラシ等)の実施
 - ○要配慮者に対する支援の実施
 - ○仮設住宅入居者等への歯科ニーズの把握と口腔ケア支援
- 3. 歯科医療受診の調整
 - ○歯や口腔内のけがや義歯の紛失等歯科医療が必要な人に対する受診の調整

◆市町◆

- 1. 保健所と情報を共有し、支援を実施
 - ○避難所等歯科口腔保健標準アセスメント票にて情報を共有し、支援を実施する。
 - ○避難所住民数(全体、乳幼児数、高齢者数等)
 - ○被災住民数(避難所以外の被災者)
 - ○ライフライン(水道、電気、ガス、道路等)の復旧状況
 - ○歯科医療機関の復旧状況の確認
- 2. 口腔ケア支援活動の実施
 - ○仮設住宅入居者等の歯科ニーズの把握及び口腔ケア支援
 - ○歯科医療・口腔ケアニーズ調査票(個人)、歯科保健相談・口腔ケア・指導票、施設・保育所・学校における歯科健康教育実施記録等に記入後、活動報告書にて整理
- 3. 歯科医療受診の調整

概ね2か月以降(フェーズ4) 復旧期―生活の再建―

仮設住宅への入居、復興住宅や自宅再建による転居に伴い、将来への不安や避難生活の長期化によるストレス、閉じこもり、新しいコミュニティづくり等が課題となる時期である。 住民が生活環境の変化に適応し、健康で自立した生活ができるよう公衆衛生支援体制を整備する。

【想定される事項】

- ・ 仮設住宅への入居、生活の確立。将来の生活不安の顕在化。
- ・ 避難生活等により蓄積された身体状況の悪化が顕在化。
- ・ 家や財産の喪失、仕事の喪失、役割の喪失による心身の打撃。
- ・ 生活環境の変化による適応障害、慢性疾患の悪化、認知症の悪化が起こりやすい。
- ・ 近隣関係の希薄さによる孤立化により、閉じこもりや孤独死等の可能性がある。

◆◆県主管課(健康増進課)◆◆

- 1. 地域の復旧状況や被災者の歯科口腔保健の状況を把握
- 2. 長期的な口腔ケア支援活動方針の策定と施策化
- 3. 関係者による連絡調整会議の実施
 - ○市町の活動状況の共有、情報交換の場を設け、今後の活動につなげる。
- 4. 調査・研究等への積極的な支援
 - ○歯科口腔保健の関係マニュアルや活動の評価及び情報共有

◆◆保健所◆◆

- 1. 地域の復旧状況や被災者の歯科口腔保健状況の把握と県主管課への報告
- 2. 口腔ケア支援活動の実施支援
- 3. 市町と連携して健康調査の実施
- 4. 口腔ケア支援活動のデータ整理・分析
- 5. 関係者との情報交換

◆市町◆

- 1. 地域の復旧状況や被災者の歯科口腔保健状況を把握し、保健所と情報を共有
- 2. 口腔ケア支援活動の実施
- 3. 保健所と連携して健康調査の実施
- 4. 被災者同士の交流支援
- 5. 新たなコミュニティづくりへの支援

概ね1年以上(フェーズ5) 復興期―地域の再建―

仮設住宅等から再び移動することに伴う新たな健康問題への支援、地域の自治組織、ボランティア、関係機関との連携による地域との融合の促進や住民及び支援者への継続的なこころのケアと健康管理が大切である。

復興に伴い、被災地域における地域コミュニティづくりと一体的に歯科口腔保健医療体制の再構築が推進される。

【想定される事項】

• 短期間とはいえ、住み慣れてきた仮設住宅から再び移動することに伴い、高齢、ストレス 等による関連症状などさまざまな要因で、環境になじめずに新たな健康問題が起こる。

愛媛県 災害時保健衛生活動マニュアル ~歯科口腔保健編~ (平成29年12月作成,修正 令和5年3月)

5. 避難所等における口腔ケア啓発用資料(日本歯科衛生士会)

https://www.jdha.or.jp/pdf/outline/saigaimanual 2022.pdf

- ➤ マスクをしたままできるお口の体操 http://jsdphd.umin.jp/pdf/20201027.oralcare.mask.poster.pdf
- ▶ 歯みがき啓発ポスター
- ▶ 口腔ケア用品の管理方法に関するポスター(4種類)
- ▶ 口腔ケア用品の使用方法に関するポスター(7種類)



マスクをしたままでできる



こちらから 『お口の体操』の 動画が見れます。

お口の体操

~ 唇や舌、頬やのどの筋力アップをすることは全身の健康へとつながります。 美味しく安全に食べて健康に過ごしましょう ~



①唇をとがらせ 前に突き出す



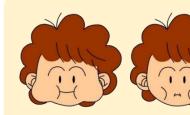
②左右にしっかりと引く



③大きく開ける



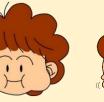
唇を閉じ、唇の内側で 舌をぐるぐる回す



①頬をふくらます ②頬をへこます



③左右交互に頬をふくらます



④唇をしっかりと閉じ 上下交互に唇をふくらます



開口運動



- ① 口を最大限に大きく開ける
- ② 10 秒間保持する
- ③ 10 秒間休む
- 4 2 3 を繰り返す
- ●顎関節症の人や、あごが外れ やすい人は、注意して行いま しょう

前舌保持嚥下訓練

(ベロ出しごっくん)



- ① 舌を少し前に出し、唇を閉じる (舌を強く咬まないよう注意しましょう)
- ② そのまま、つばをゴックンと飲 み込む
- ★上手にできるようになったら 「ゴックーーーン」と、飲み込む 途中で数秒保ってみましょう

空気を漏らさない ようにするのが ポイントです!

食べ物を 食べながら 行っては いけません

食前や空き時間に 5回〜10回 行いましょう

監修: 戸原 玄 教授

東京医科歯科大学

摂食嚥下リハビリテーション学分野

発 行:日本歯科衛生士会 制作協力:熊本県歯科衛生士会 イラスト:福岡県歯科衛生士会

歯みがきと

ブクブクラかいで

肺炎症

予防しましょう!



公益社団法人 日本i

歯磨き粉は

感染の危険性を避けるため

自分專用。

を使用しましょう!



公益社団法人 日本歯科衛生士会

歯ブラシは

上を向けて保管

しましょう!





公益社団法人 日本歯科衛生士会

1回 3プッシュ

お口に含み

20秒間 ブクブクして 吐き出します。

公益社団法人 日本歯科衛生士会

1回 3プッシュ

お口に含み

20秒間 ブクブクして 吐き出します。



公益社団法人 日本歯科衛生士会

マウスウォッシュ(洗口液)

- 水がない場合、うがいの水の代わりに使用します。
- マウスウォッシュを口に含み20秒ほどブクブクして吐き出します。
- 歯磨き剤がない場合、マウスウォッシュを口に含みブクブクして吐き出し、その後歯ブラシで磨きます。
- お口の乾燥が気になる方はアルコールフリー をご使用下さい。



公益社団法人 日本歯科衛生士会

マウスウォッシュ(洗口液)

アルコールフリー

- 水がない場合、うがいの水の代わりに使用します。
- マウスウォッシュを口に含み20秒ほどブク ブクして吐き出します。
- 歯磨き剤がない場合、マウスウォッシュを口に含みブクブクして吐き出し、その後歯ブラシで磨きます。
- お口の乾燥が気になる方はこちらの洗口液 (アルコールフリー)をご使用ください。



公益社団法人 日本歯科衛生士会

入れ歯 洗浄剤

- ①寝る前は入れ歯を外し、ブラシでしっかり擦り洗いましょう。(歯磨き剤は使用しないでください)
- ②水を入れた入れ歯ケースに洗浄剤を入れ保管 しましょう。
- ③朝はしっかり流水で洗い、装着しましょう。



公益社団法人 日本歯科衛生士会

入れ歯 ケース

夜間就寝時は歯ぐきを休めるためにも入れ歯ケースに入れて保管しましょう。

*入れ歯ケースに入れるときは…

ブラシでしっかり擦り洗いしたあと、水を入れ た入れ歯ケースに保管しましょう。

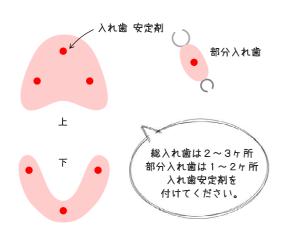
入れ歯は乾燥すると歪 んだり、変形したりし ます。外したら必ず水 を入れた入れ歯ケース に保管しましょう。



公益社団法人 日本歯科衛生士会

入れ歯 安定剤

◆ 入れ歯がゆるい場合などに一時的に使用する ものです。落ち着いたらなるべく早く歯科医 院へ行きましょう。



公益社団法人 日本歯科衛生士会

入れ歯専用歯磨き剤

业物*有可*"业

食後は入れ歯を外し、入れ歯の上に泡を出して、 ブラシでしっかり擦り洗いしたあと、水で流し ましょう。



公益社団法人 日本歯科衛生士会

入れ歯専用歯磨き剤

华港多イブ华

食後は入れ歯を外し、入れ歯の上に泡を出して、 ブラシでしっかり擦り洗いしたあと、水で流し ましょう。

保健師さんへ

女性の中には人前で入れ歯を外せない方がいらっしゃいます。そういう方にお勧めして下さい。清掃後は清涼感があります。



研磨剤を - 含んでいない 入れ歯専用の 歯磨き剤です。

公益社団法人 日本歯科衛生士会

- 6. 災害時歯科保健医療活動において連携すべき保健医療活動チーム
- DHEAT (Disaster Health Emergency Assistance Team), 災害時健康危機管理支援チーム 各都道府県は災害対策本部の下に、保健医療調整本部を設置するとともに、保健所において、保健医療活動チームの指揮又は連絡等を行うほか、保健医療ニーズ等の収集及び整理・分析を行うこととされている。この、被災都道府県の保健医療調整本部及び被災都道府県 等の保健所の指揮調整機能等における業務を補助するチーム。
- JMAT(Japan Medical Association Team, 日本医師会災害医療チーム)

日本医師会により組織される災害医療チーム、およびその枠組み。急性期の災害医療を担当する DMAT が3日程度で撤退するのと入れ替わるようにして被災地の支援に入り、現地の医療体制が回復するまでの間、地域医療を支えるための組織。

- JRAT(大規模災害リハビリテーションチーム Japan Rehabilitation Assistance Team 大規模災害発生時に災害弱者、新たな障害者、あるいは被災高齢者などの生活不活発病 への予防に対する適切な対応を可能とすることで国民が災害を乗り越え、自立生活を再建、復 興を目指していけるように、安心、安全且つ、良質なリハビリテーション支援を受けられる制度 や体制の確立を促進する。
- JDA-DAT(The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team, 日本栄養士会災害支援チーム)

日本栄養士会により組織されるチーム。大規模自然災害発生時、迅速に、被災地での栄養・ 食生活支援活動を行う。災害発生時に自助・共助・公助が円滑に行われるように、平時の防災 活動も支援している。

● DWAT(災害派遣福祉チーム, Disaster Welfare Assistance Team)

災害時における二次被害を防ぐため、避難所等に派遣され、配慮が必要な者に対し、避難者等の福祉ニーズの把握やスクリーニング、福祉避難所への誘導、日常生活上の支援、各種相談対応、環境整備などの福祉支援を実施する。

● DPAT(Disaster Psychiatric Assistance Team, 災害派遣精神医療チーム)

大規模自然災害発生時、精神保健医療機能が一時的に低下し、さらに災害ストレス等により 新たに精神的問題が生じる等、精神保健医療への需要が拡大する。このような場合に被災地 で心のケア活動を行う専門職チーム。精神科医師、看護師、業務調整員で構成される。 本考え方の作成にあたり、下記の資料などを参考とさせていただきました。ここに感謝申し上げます。

- ◆ 災害時の保健活動推進マニュアル (地域保健総合推進事業), 全国保健師町会, 2020 年 3 月
- JDAT(Japan Dental Alliance Team: 日本災害歯科支援チーム)活動要領, 日本歯科医師会・ 日本災害歯科保健医療連絡協議会, 2022 年 10 月
- ◆ 災害歯科保健活動 歯科衛生士実践マニュアル, 日本歯科衛生士会, 2022 年 10 月
- ◆ 愛媛県 災害時保健衛生活動マニュアル〜歯科口腔保健編〜, 平成 29 年 12 月 (修正令和 5 年 3 月) https://www.pref.ehime.jp/h25500/shika/documents/202303.pdf
- ◆ 北海道 災害時の歯科保健医療活動~道立保健所歯科専門職のための手引き~,2020 年 2月
- ◆ 災害時の歯科保健医療対策 連携と標準化に向けて,一世出版前,2015年6月
- ◆ 災害歯科医学, 医歯薬出版, 2018年2月
- ◆ 災害歯科保健医療標準テキスト, 一世出版, 2021 年 12 月

* * *

自治体における災害時の歯科保健活動推進のための活動指針作成に向けた考え方

令和 4 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金研究事業(22IA2006)

「自治体における災害時の歯科保健活動推進のための活動指針作成に向けた研究」研究班

研究代表者

東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科・非常勤講師 中久木 康一

研究分担者

国立保健医療科学院 統括研究官(歯科口腔保健研究分野) 福田英輝

研究拉力者

国立保健医療科学院 健康危機管理研究部研究員 竹田飛鳥東京都西多摩保健所 歯科保健担当課長 柳澤智仁国立保健医療科学院・生涯健康研究部 特任研究官 安藤雄一岩手県二戸保健所長 森谷俊樹

奈良県 福祉医療部医療政策局 健康推進課 主任調整員 全国行政歯科技術職連絡会 会長

堀江 博

 日本歯科医師会 常務理事
 小玉 剛

 日本歯科衛生士会 副会長
 久保山裕子

助言者

埼玉県鴻巣保健所長 遠藤浩正 愛知県保健医療局健康医務部健康対策課 歯科・栄養グループ 小栗智江子 熊本県人吉保健所 楠田美佳